

2017年 感動・興奮・喝采

これから続く
魅力の例会

2017年4月 第325回例会 劇団文化座公演

旅立つ家族

作●金 義卿 脚色●金 守珍/佐々木愛 演出●金 守珍
出演■佐々木愛 有賀ひろみ 藤原章寛 高橋美沙 ほか

4月7日(金)6:45~野々市7ホール/8日(土)3:30~邦楽ホール

激動の1940年代、恋に落ちた画家と日本の令嬢をつないだものは…

韓国の国民的画家、李仲燮(イ・ジュンソプ)その鮮烈な生と芸術！
生涯夢に描き続けた家族への愛をエネルギーに描いています。

日本で出会った山本方子と家族と愛を育てていたが、朝鮮戦争の
動乱の中離れ離れに暮らすことに…



鮮烈な家族の愛の物語！



2017年6月 第326回例会 劇団俳優座公演

ワル・サークル~ベルリン1945

作●エーリヒ・マリア・レマルク 訳・演出●勝田安彦
出演●島 英臣 斉藤深雪 小山力也 中寛三 ほか

6月4日(日)2:30~文化ホール/10日(土)6:45~野々市7ホール

陥落寸前のベルリン市内のアパートの一室で

展開される命がけの嘘と愛の結末は？

レマルク唯一の戯曲。謎めいた女性アンナの元に一人の脱走兵が
逃げ込んだ。彼を追って秘密警察の将校も。敗戦の瞬間、立場は
逆転し、侵攻してきたソ連兵も加わって息詰まる駆け引きがはじまる。
自由や尊厳を脅かすものは…現代に警鐘を鳴らす。

一編の息詰まるサスペンス！

2017年8月 第327回例会 劇団民藝公演

蝋燭の灯、太陽の光

作●テネシー・ウィリアムズ 訳●吉原豊司 演出●高橋清祐
出演■日色ともゑ 箕浦康子 桜井明美 千葉茂則 ほか

8月11日(金)6:45~野々市7ホール/12日(土)1:30~野々市7ホール

新たに発見されたテネシー・ウィリアムズの

若き日の作品を本邦初演。

T・ウィリアムズは詩的でメランコリックな作風で知られていますが、
まだ若く無名な頃に作ったこの戯曲では、社会の底辺で生きる人々の
苦しみと明るい希望の光とを、若者らしくまっすぐに描いています。

日色ともゑが「女性の強さとたくましい生命力を示した」と読売演劇大賞女優賞を受賞。



二つの光が照らす先には…

あなたも会員になって観劇の輪に入りませんか…。金沢市民劇場 (演劇鑑賞会)

興味を持ったらお気軽にお電話を 076-263-5057 (金沢市香林坊1-2-40 石川県教育会館1F)

- 金沢市民劇場は、非営利のサークル・会員制の演劇鑑賞会です。3名以上のサークルを作って、年間6本の演劇を鑑賞(例会)します。そのほか、楽しさ先取りの演劇講座、俳優さんとの交流会など開催します。
- 会費は1ヶ月 一般2500円・23歳以下1500円・18歳以下1000円。入会金は600円です。
入会時には、2ヶ月分の会費と入会金が必要です。
- 誰でも、いつでも入会できます。お知り合いと一緒に申し込まれるか、既存のサークルに参加して下さい。入会後の一年間は継続して、様々な芝居をお楽しみ下さい。2年目からは自動的に更新されます。
- 暮らしの中に演劇がある。そんなステキな出会いが出来ることを願っています。
- 詳細はお気軽に事務所までお問い合わせ下さい。

これからも続く魅力の例会

2017年10月

第328回例会 劇団前進座公演

柳橋物語

作●山本周五郎 演出●十島英明 出演●今村文美 浜名実貴 (予定)

山本周五郎の感動の名作、前進座で待望の上演。

10月1日(日)2:30~金沢市文化ホール/2日(月)6:45~野々市7ホール

時代背景は違って、常にそのテーマは時代を超えて現代にも通じる周五郎作品。
“庶民の生きるための苦しみも悲しみも、喜びも楽しさも、すべてがここにある”
と言われる「柳橋物語」。



(初演舞台より)



2017年11・12月例会 第328回例会 劇団東演公演

検察官

作●N・ゴーゴリ 演出●V・ベリャコーヴィッチ

出演■ 能登剛 南保大樹 腰越夏水 ほか

ロシア演劇の鬼才ベリャコーヴィッチ、次なる作品は風刺喜劇

12月10日(日)2:30~邦楽ホール/11日(月)6:45~野々市7ホール

わいろや横流しは当たり前……、市長以下お役人の常識と庶民の感情の
行き違いが巻き起こす大騒動！

ベリャコーヴィッチの手で魔法にかけられたような舞台に変貌！

2018年1・2月例会

第329回例会 劇団文学座公演

女の一生

作●森本 薫 補訂・演出●鶴山 仁

出演●赤司まり子 山本郁子 大滝 寛 石川 武 ほか

日本演劇史に残る名作が、

いま新たな演出と新たな布引けいで甦る！

文学座の財産演目、『女の一生』が、いま新たに、鶴山仁氏の
演出により、戯曲の素晴らしさに焦点があてられました。

また布引けいを演じる、山本郁子さんの演技とあわせ、現代の私たちに
つながる作品として、楽しみな作品。



2018年3・4月例会

第330回例会 劇団テアトル・エコー公演

もやしのかみ

作●小川未玲 演出／保科耕一

出演●根本泰彦、後藤敦、川本克彦、田辺静恵、ほか

1960年代の「もやし屋」を舞台にしたハートフルな喜劇。

家電製品が普及し始めた昭和30年代。手作業でもやしを生産している
「泉商店」の長男恵五郎は、寝る暇もなくもやしを作り続けていた。
気が遠くなる程手間のかかるもやし作りを中心に、家族や周囲の人々と
の心通う交流を優しくあたたかく描き出す感動の喜劇作品です。



(仮) 入会申し込み書

お名前 _____

住所 (〒 _____)

お電話番号 _____

FAX _____

